

ひきやまほうとう

# 日木山宝塔



平成16年4月20日指定



■ 所在地 始良市加治木町日木山485

■ 所有者 個人

■ 特徴

2つ並んだ凝灰岩・砂岩製の宝塔(同じ構造様式)には、鎌倉期の梵字が刻まれています。

南側の塔は255cm で金剛界四仏(こんごうかいしぶつ)の梵字が刻まれ「仁治参年壬寅九月廿五日」(※仁治参年は1242年)の紀年銘があります。北側の塔は235cmで胎蔵界四仏(たいぞうかいしぶつ)の梵字が刻まれ、翌寛元元年の紀年銘があったといわれていますが現在は欠けています。

紀年銘のある宝塔としては県内で2番目に古く、規模も最大級で、残存度も良好です。また、中世の豪族である加治木氏との関係をうかがわせる歴史資料でもあります。